

2016年12月5日

東急ファシリティサービス株式会社

渋谷ヒカリエにおいてエレベーター閉じ込め救出訓練を実施 ～ お客様の早期救出のために～

東急ファシリティサービス株式会社（本社：東京都目黒区、社長：高橋 俊之）は、甚大な被害が予測されている首都直下地震に備え、2016年11月14日、渋谷のフラッグシップタワーである「渋谷ヒカリエ」において、エレベーター乗車中に地震、停電等が発生し、施設をご利用されるお客様が閉じ込められた際に、迅速な救出を図るため、エレベーター保守会社と連携した救出訓練を実施し、当社ならびに協力会社の従業員9名が参加しました。

エレベーター閉じ込めが発生した場合、原則としてエレベーター保守会社が救出対応を行うこととなりますが、広域災害の場合、交通網の寸断や混乱、規制等により対応が遅れることが予想されます。そのため、施設管理業務を担う当社においても、救出への対応を可能とすることを目的として実施しました。訓練は、救出作業の処理フロー、火災発生時の処置等の講習を受講した後、エレベーター保守会社の指導のもと、救出する一連の作業について、実機を使用した模擬救出訓練を行いました。今後、当社が管理するさまざまな施設においても、技術の習得を積極的に展開し、救出体制の整備を推進していきます。



当社は、施設をご利用されるお客様の安全確保を最優先に取り組むとともに、被災時におけるお客様の事業継続および早期復旧に貢献するため、さまざまなBC活動を推進してまいります。

【本件に関するお問合せ】

経営統括室 総務部 総務課 （担当：中嶋・遠藤）

TEL：03-5722-1111 FAX：03-5722-1138